

ELR2022 つくば 大会開催期間中の新型コロナウィルス感染症対策

ELR2022 つくば実行委員会

「ELR2022 つくば」では、新型コロナウィルス感染症に関して、参加者・関係者の健康・安全を守るため下記の対策を実施します。なお、今後の感染状況変化、更には国、自治体、会場施設の方針の変更等により、完全オンラインへの切り替え等の見直しを行う場合もあります。

1. 対策実施あたっての参考資料

対策は、開催地である「つくば市」と、会場の「つくば国際会議場」の方針も踏まえ、実施いたします。

つくば市の方針：つくば市主催・共催イベント・大会等の取扱い方針(案), 令和4年7月25日

URL: https://www.city.tsukuba.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/009/662/220725.pdf

つくば国際会議場の方針：新型コロナウィルス感染症拡大防止に向けた取り組み, 令和4年6月24日

URL: <https://www.epochal.or.jp/ja/新型コロナウィルス感染症拡大防止に向けた取り/>

2. つくば国際会議場での対策

1). 会場参加者へのお願い

・以下に該当する方は、会場参加をご遠慮ください。なお、体調不調と思われる参加者を実行委員が確認した場合は、お声をかけて、参加を取りやめて頂く場合もあります。

▶当日に体温37°Cを超える熱がある。

▶風邪の症状、倦怠感（強いだるさ）、息苦しさ等の体調不良がある、あるいは体調不良の可能性がある。

▶過去14日以内に発熱等の症状があった。

・つくば国際会議場の入場時は、氏名、住所、電話番号、体温等を記入した参加票を受付にご提出して頂きます。参加票は大会参加者に事前にメールするとともに、大会ホームページにも掲示いたします。会場参加者は事前に印刷して必要事項をご記入の上、来場時にご持参ください。体温の検温を忘れた方は、会場内や受付にて体温を計測し、参加票にご記入ください。

・ELR2022 つくば開催期間中に国際会議場内で、新型コロナウィルス感染症のクラスター等が発生して保健所や会議場から情報提供を求められた場合には、参加票の情報を提供する場合があります。ご了解ください。

・会場ではマスクの着用を必須とします。マスクは正しく着用し、大声を出さないでください。

・各会議室の入口にはアルコール消毒液を設置します。入退出時は手の消毒をお願いします。

- ・3密（密集・密接・密閉）の回避のため、会議室の入退場時、休憩時間などでは、人と人が触れ合わない距離の確保をお願いします。会議室については、少なくとも30分ごとに換気を行います（会場入り口のドアを開けます）。
- ・食事は会議室でのみ可能です。食事は黙食をお願いします。

2) 口頭発表、自由集会、公開シンポジウム会場の対策

- ・定員数は会議場の定める定員数を上限とし、立ち見での聴講は禁止といたします。
- ・発表者からの飛沫拡散防止のため、演台と参加者の間には2m以上の距離を設定します。会議室内の机はプログラムの休憩時間（昼休み、夕方等）に消毒を行います。
- ・マイクは利用者がかわるごとに、アルコールタオルで消毒します。
- ・口頭発表・自由集会・公開シンポジウムの発表者は、発表時のみマスクの代わりにフェイスシールドの使用は可能とします。フェイスシールドを使用される方は、各自でご準備ください。
- ・発表演台を利用して発表する方は、登壇前と登壇後に、手をアルコールで消毒して頂きます。アルコール消毒液は演台の脇に設置いたします。

3) ポスター発表会場の対策

- ・定員数は会議場の定める定員数を上限とし、入場制限を行う場合があります。
- ・ポスターの発表者と聴講者の間の距離を確保するために、床に距離がわかる目印を付けます。聴講者は目印を参考に、人ととの距離の確保をお願いします。
- ・ポスター発表の会場は人ととの距離が近くなりやすいため、発表者も含めてマスクを必ず着用してください（フェイスシールドの使用は不可）。

3. エクスカーションでの対策

- ・集合時に体調確認（体温、体調チェック）を行い、発熱や感染の疑いがある場合は参加をとりやめて頂きます。
- ・移動に利用するバスの定員は、通常の乗車定員の半分とします。車内での会話はご遠慮ください。
- ・バスの車内ではマスクの着用を必須といたしますが、屋外で人ととの距離が2m以上確保できる場所ではマスクを外しても構いません。開催日当日が暑い場合は、マスク着用に伴う熱中症にはご注意ください。

以上